

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103953
法人名	有限会社やわらぎ
事業所名	グループホームぱうさんのおうち
所在地	松山市久万ノ台137-6
自己評価作成日	平成26年5月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年5月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

外出支援、月1回の家族様の弾き語り演奏

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>前回の外部評価を受け、利用者がご自分から「お風呂に入るうか」と思えるような支援に工夫された。職員は、利用者に懐かしい銭湯や五衛門風呂を話題にして、思い出をお聞きたりしながら入浴につなげる等して成果があったようだ。現在は、週2回の入浴支援を基本にしているが、毎日入浴の準備をして、ご本人の希望に応じており、毎日入浴する方もある。</p> <p>献立作りや買い出し、調理等は、職員が交代で担当されている。献立には利用者の希望も採り入れ、一緒に買い出しに行くようなこともある。利用者は、野菜の下ごしらえや簡単な調理をすることもあり、調査訪問日には、ちらしずしに乗せる具の炒り卵を作っておられた。食後には、ご自分の食器を下膳する利用者の姿が見られた。年2回、「ばあばの料理教室」として、利用者が主体となり調理する機会を作っており、鍋物を作ったり、ひとり分ずつお弁当を作ったこともある。誕生日は、ご本人の好物と職員手作りのケーキでお祝いされている。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームぷうさんのおうち

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

山内一明

評価完了日

26年 5月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			ホーム独自の理念を作り掲示している。町内会長、民生委員、住民にも声をかけ実践に繋がられるように努めている。	
			(外部評価)	
			平成21年に職員で話し合い作成した、「利用者の方の想い 出来る限り寄り添い笑顔で楽しく和気あいあい」という事業 所理念については、職員の入れ替わりに伴い、2年前に理 念の見直しを検討されたが、このまま継続することに決めら れた。理念は廊下に掲示されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			近所の子供達も時々遊びに来てくれて事業所内で会話をし て楽しんでいる。	
			(外部評価)	
			事業所は町内会に加入し、回覧板が回ってきている。管理 者は、毎年、市民大清掃に参加して地域の方々と活動され ている。事業所の駐車場で夏祭りは、民生委員の方にも 手伝っていただき、スイカやかき氷等を振る舞われ、昨夏は 子ども達を中心に10～15名程の参加があった。子ども達 は、普段でも建物の2階にある事業所に遊びに来て、時には 利用者とおやつと一緒に食べることもあるようだ。以前は、保 育園と交流があったが、2年間ほど途絶えており、管理者は、 今後、再開して交流したいと話しておられた。	管理者は、「地域の人に認知症や事業所の理解を深めてほ しい」と考えておられる。事業所では月1回、「喫茶店」を開 いて、利用者と地域の方達等が親睦できるような機会を設け ておられる。今後もさらに、喫茶店の取り組みや地域行事へ も積極的に参加して、地域との相互理解、協力を深めてい かれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			地域の方に運営推進会議に参加してもらい、認知症の方の ケアについてのテーマで話をさせて頂き、理解を深めて頂け るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂いた皆様からの意見を参加していなかった職員にも議事録や連絡ノート、口頭などで報告して取り組んでいけるように努力している。	
			(外部評価) 会議は、併設する1階の小規模多機能事業所と合同で開催しており、町内会長、民生委員、他事業所の職員等、又、ご家族、利用者が1~2名ずつ参加されている。町内会長には、管理者等がご自宅を訪問して依頼し、今年から参加されている。会議では、行事等の活動報告を行い、さらに、「利用者との関わりについて」等、テーマを決めて、事業所の現状をお話しながら意見をうかがっておられる。又、「感染症予防対策」等、テーマによっては外部講師を招き、参加者と一緒に勉強をされている。管理者は、今後、避難訓練と会議を併せて行うことも検討されていた。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市役所の方とは日頃から連絡とれてるが担当者が変わる時があるので馴染みの関係には至っていない。運営推進会議に介護保険課の方も参加しているが議事録を介護保険課へ送付して活動の報告を継続している。	
			(外部評価) 運営推進会議時に、行政や社会福祉協議会の方から、会議のテーマに沿ってアドバイスをいただいている。「防災」について話し合った際には、「近隣の方に、事業所の方から発信し、避難訓練に参加してもらったりする必要がある」等のアドバイスをいただいた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束しないためにはどうするかをまず考えていくように努めており、ペット柵やベルトなどはしていない。緊急を要した場合、書面に同意を得る事はあるかもしれないが現在は行っていない。	
			(外部評価) 以前は、ベッド柵を付け対処している利用者もあったが、前回の外部評価を機に、「拘束しないためにはどうすればよいか」を職員間で話し合い、転落やずれ落ちの原因を探り、「ベッドのギャッジアップをしない」等を申し合わせ、ベッド柵をしない対応に努めておられる。「行動を制限する言葉」については、内部研修で繰り返し話し合うことで、職員が常に意識できるよう取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待しないケアについては、相手の立場に立ってスタッフ側が適切な対応で拒否があったとしても利用者の方々が納得出来るように取り組んでいかなければならない。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護について学ぶ機会はあったが活用できていないし、十分に理解する必要があるので研修や勉強で知識を深め活用出来るようにしていきたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に事前面談や施設見学をして頂き、本人・家族様の不安や疑問を聞いた上で事業所に関する事も含めて説明させて頂き、理解や納得を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 2か月に1回開催している運営推進会議に参加して頂き、意見交換出来る場となるように努め、貴重な意見を運営に反映させている。	サービスを利用する側であるご家族等の声を反映した運営に、今後も努力を重ねていかれてほしい。やわらぎ通信等を通じて、事業所の取り組みや情報を具体的に発信し、意見や要望を引き出してみてもどうか。
			(外部評価) ご家族の来訪も多く、その都度意見等をうかがうようにされている。ご家族から、「洗濯物の間違い」について意見があった際には、「持ち主不明の洗濯物は、タンスに入れないこと」を職員で申し合わされた。季刊誌「やわらぎ通信」には、職員の仕事に対する思いを掲載して、ご家族に発信されている。夏祭りや敬老会、クリスマス会や餅つき等の行事には、ご家族にも案内して、数名の方が参加されている。「喫茶店」の日は、準備から手伝ってくださる方もあり、ピアノ演奏で雰囲気を作ってくれている。運営推進会議時、ご家族からは、「重度化した利用者は、近くを散歩するだけなので外出の範囲が狭くなっている」、「この会議で皆さんの話を聞いたり、自分の事を話せたりできるのは大事だと思います」等の発言があった。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回のリーダー会で運営に関する方向性について説明があったり、現場の職員の意見を提案していく事で職員が働きやすい環境づくりを目指している。	
			(外部評価) 今回の自己評価は、職員個々に取り組み、管理者を含む職員3名で手分けしてまとめられた。年度初めには、事業所の主な行事について担当職員を割り振り、職員は、管理者等に相談しながら責任を持って取り組まれている。又、利用者個々に担当職員を配置して、介護計画を作成し、ご家族への説明も行っている。管理者は、職員の自己目標や自己評価をもとに年3回、職員と面談を行っておられる。又、法人は、勉強会を行う等、資格取得に向けて後押しをされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 個々の目標計画を立てる事であったり、自己評価をして見つめ直す機会をつくる。個別に面談を行って評価する部分、改善が必要なことを互いに話をして意欲に繋がれるように定期的に行っている。努力や実績が認められた方については事業所として能力に合わせた役割を担ってもらい向上心と自覚を持って取り組んでもらうようにしている。	
			(外部評価) 内部研修や地域密着型サービス協会主催、地区の事業者連絡会などの研修参加を義務付け、職員が希望する研修へ参加している。参加したものは、現場の職員へ学んだことを伝え、チームとして力量が向上できるように努めている。	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) やわらぎ全体で相互研修などに参加してサービスの質の向上に努めている。	
			(外部評価) やわらぎ全体で相互研修などに参加してサービスの質の向上に努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) やわらぎ全体で相互研修などに参加してサービスの質の向上に努めている。	
			(外部評価) やわらぎ全体で相互研修などに参加してサービスの質の向上に努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 開始時には、本人の困っていること、楽しみにしている事を課題として取り組み、解決して安心して頂けるように支援を行っていく必要がある。	
			(外部評価) 開始時には、本人の困っていること、楽しみにしている事を課題として取り組み、解決して安心して頂けるように支援を行っていく必要がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) アセスメントやケアプランの作成をする際に、どのようにしたいのか要望に添えるようにしている。面会に来られた際にも、近況を報告をして信頼関係を築くように努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の希望を聞き、必要性があるものを適切に判断して安心して利用して頂けるように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人が出来る事は一緒に行い、分からない利用者様から学びを得る。感謝の気持ちを込めてねぎらいの言葉を忘れずにかける。その方が輝いていた頃を思い起させる事が出来るように引き出す。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会だけでなく、行事の案内状を出して利用者本人と家族様との時間を過ごせるように努める。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族様が本人の姉妹の所にお連れして過ごされたり、昔から通っている理容店へ散髪に一緒に行ったりして外出の支援を行っている。	
			(外部評価) 映画に関する仕事を長年続けて来られた利用者は、字幕付きの洋画を見ることを好まれ、時には職員と一緒に映画館に出かけ楽しまれている。ご家族と外食に出かけたり、受診の日には、お気に入りの喫茶店に立ち寄って帰る方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者間で口論があった場合は、仲裁に入り、利用者間のトラブルに対応している。共有スペースを利用してもらうことで孤立のないように努めている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	契約が終了しても気軽に来所出来るように連絡を取り合ったり、手ハガキで様子を伝えるなど関係を継続に努めている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	意思表示が示せる方については、意向に添えるように支援し、困難な方については、本人の立場や思いを把握して本人本位となるように検討している。
			(外部評価)	
			センター方式のアセスメントシートをアレンジしたものを用いて、利用者個々の思いや暮らし方の希望等の把握に努め、年1回更新されている。「看取りについての願いや思い」も聞いておられる。日々の個別記録には、会話や言葉も記入して、利用者ご本人の思いや意向の把握に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	これまでの暮らしを把握して、食事の際には、個々の好みに合わせたものを提供することに気を付け、一人ひとりの暮らしに近づけられるように努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	本人の意志を尊重しながら、声掛けをしてリビングでの共有生活を支えていく。居室で過ごしたいという気持ちがある時には、見守りながら様子を見て、本人の意向に配慮している。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 月1回のスタッフ会に向けてモニタリングを行い、一人ひとりのケアの方向性をチームとして確認を行う。修正や継続が必要か十分に議論を重ね、本人が望んだ暮らしを送るための支援を実践出来るように努めている。 (外部評価) 事業所では、「ご本人の希望や思いを大切にした介護計画作成」に努めておられる。月1回、利用者個々の担当職員がモニタリングして、3～4ヶ月毎の見直しにつなげておられる。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記録や申し送りノート、口頭などで職員間で情報交換して周知徹底が行えるように連携を図っている。変化や計画に追加できる事があれば、実践に取り入れる形をとれるように活かしている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 既存のサービスに偏った支援が現状ではあるが、その時に生まれたニーズ多機能化が検討される必要があると判断した場合には、柔軟なサービスが実行出来るような仕組みを具体化していく必要がある。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 家族様との時間を大切にして頂いたり、馴染みのある理容店やスーパー、本屋、外食などを利用する事で豊かで楽しい暮らしができるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 週1回全員の往診と個別に時間をとる往診(緊急時の追加もあり)が1か月の間ある。状態の変化があれば報告して指示、連絡を受けて対応できる体制が整っている。</p> <p>(外部評価) ご本人やご家族の希望もあり、現在は利用者全員が24時間体制の協力医療機関の往診を受けておられる。又、協力医療機関の看護師が週1回訪問して、利用者の健康チェックをされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 定期的に訪問して頂いており、変化があれば連絡を取り、指示をもらっている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 医療連携と密に連絡をとり、主治医に伝え退院後もスムーズに生活を送れるように努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 年度始めに、本人・家族の方に希望を聞いている。また状況の変化と共に、その都度説明を行い意向を確認している。</p> <p>(外部評価) 利用契約時、「重度化した場合の対応」について、事業所の指針に沿い、看取り支援までできることを説明されている。又、毎年、アンケート方式で看取り支援について、ご家族の意向を確認しており、現在3名の方の希望がある。2年程前には、ご家族の希望等もあり、病院を退院して事業所に戻り、看取りを支援した事例がある。ご家族も毎日のように会いに来られ、ともに看取られた。他利用者も居室を訪れ、最期のお別れをされた。ご家族は、「本人も幸せ、ここで良かった」と感想を話されたようだ。運営推進会議時に、市社協の方から、「看取りに不安のある職員に対して、管理者、施設代表のフォローが大切になってくる」と、アドバイスをいただいた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	緊急時対応を月1回訓練を取り入れて行った。また、マニュアルの作成をして急変や事故の発生に備えている。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	月1回、1Fの小規模と合同で避難訓練を実施している。また、町内会会長と民生委員の方と避難訓練の方法を地域と協力していこうという取り組みが話し合われている。
			(外部評価)	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	居室に訪室する際は、必ずノックをし、言葉遣いに気を付けている。
			(外部評価)	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	選択肢を掲示し、本人様に自己決定して頂けるようにしている。また、それに添えるように努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の人員不足もあり、なかなか利用者様の希望する支援 が行えてない事もあるが、本人様の決定権に配慮した支援 を心掛けている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 本人様の着る服などは、選んで頂いており、汚れれば更衣 をしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 配膳や片付け、台拭きなど、一緒になって出来るものは手 伝って頂いている。 (外部評価) 献立作りや買い出し、調理等は、職員が交代で担当されて いる。献立には利用者の希望も採り入れ、一緒に買い出し に行くようなこともある。利用者は、野菜の下ごしらえや簡単 な調理をすることもあり、調査訪問日には、ちらしずしに乗せ る具の炒り卵を作っておられた。食後には、ご自分の食器を 下膳する利用者の姿が見られた。年2回、「ばあばの料理教室 」として、利用者が主体となり調理する機会を作っており、 鍋物を作ったり、ひとり分ずつお弁当を作ったこともある。誕 生日は、ご本人の好物と職員手作りのケーキでお祝いされ ている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者様に合った食べ物の形状にしている。水分につい ても、個人が好む飲み物を提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後に口腔ケアが出来ている方もいるが、行えていない 時もあるので夕食後は必ず行えるように心掛けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 出来るだけ自尿を促すため、トイレにて排泄出来るように支援できている。 (外部評価) 個々の排泄チェック表に沿って、声掛けや誘導を行い、日中はほとんどの方がトイレで排泄できるよう支援されている。トイレ内に準備している新聞紙を使用して、パット等の後始末をご自分でされる方もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳を飲んで頂いたり、適度な運動を行ってもらっている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 基本3日に1回のペースの入浴であるが、声掛けを行い、本人様の希望する時に入って頂いている。また、その日の体調によっても入浴して頂いている。 (外部評価) 前回の外部評価を受け、利用者をご自分から「お風呂に入ろうか」と思えるような支援に工夫された。職員は、利用者に懐かしい銭湯や五衛門風呂を話題にして、思い出をお聞きしたりしながら入浴につなげる等して成果があったようだ。現在は、週2回の入浴支援を基本にしているが、毎日入浴の準備をして、ご本人の希望に応じており、毎日入浴する方もある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 本人様の体調に配慮して居室で休んで頂いている。また、自由に休まれたりされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) Drの指示にあった用法・用量に合わせており、服薬の際には、職員同士で確認して服薬して頂いている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 映画や外食、買い物など利用者様の希望をくみとって支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人様希望をくみとり、予定を調整して支援をするように努めている。	
			(外部評価) 回転寿司やラーメン等の外食、映画鑑賞、喫茶店等、個々の希望に沿って1対1や数名で出かけることを支援されている。近所のスーパーへは、一緒に歩いて買い物に行かれることもある。管理者は、今後、「車イスのまま乗れる併設事業所の車を借りる等して、ドライブも計画したい」と話されていた。外出支援について、ご家族の意見や希望等をお聞きするような機会を作り、協力し合って支援に取り組まれてほしい。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員が管理しているが、一緒に買い物に同行した際には、希望した物を購入し、残金も伝えて把握してもらえるようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族との繋がり為に、電話で話をしてもらっている。手紙の支援は行っていないため、希望があれば、やりとりが出来るように支援していきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日掃除を行い、清潔に努めている。湿度・温度などに注意しており、季節に合った花などテーブルに飾っている。	
			(外部評価) 鳥のお好きな利用者がおられ、セキセイインコを飼って世話されている。居間兼食堂は、丸い木の柱や木の梁等、木の材質を活かした造りになっており、温かみを感じられる。又、天井が高く天窓があり、明るい空間になっている。居間にはテーブル席やソファが配されており、利用者は、自由に居間と自室を行き来しておられた。調査訪問時には、ほとんどの利用者が居室で休まれていたが、午後のおやつ後には居間に集まって、紙ふうせんを突いて遊んでおられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 座る席は決まっているものの、隣同士で話されていたり、職員がその間に入り、円滑に会話出来るように努めている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた物を使用して頂いている。新たに買う際には、本人様と相談して決定して居心地よく過ごせるように工夫している。	
			(外部評価) 居室には、ベッドとクローゼットが備え付けになっている。整理タンスを自宅から持ち込んだり、テレビを置いたり、ご家族の写真飾っている居室も見られた。利用者が持ちこんだ古いアルバムの中から、職員がご本人のお若い頃や、ウエディングドレス姿の写真を拡大コピーし、レイアウトして壁面に飾り、コミュニケーションのきっかけにされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーの造りとなっており、車椅子で自走されたり、歩行されたりしている。見守りや危険を予測した対応に努め、安全に生活が送れるように工夫している。	
			(外部評価)	